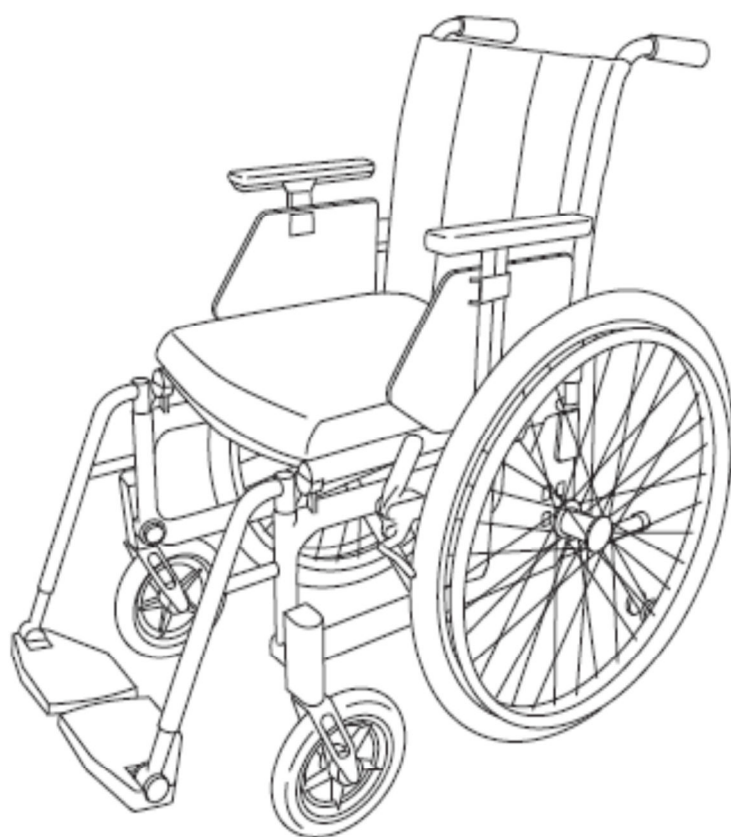
モジュラ車いす（CCTA コード　１２２１３３）

レボ取扱説明書

コード NO.2015.04

目　次

１．　概要

この度は車いすレボをお買い求め頂きまして、誠にありがとうございました。
本製品のご使用前には必ず「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しく安全に使用してください。

※車いすの調整は、販売店もしくは弊社にお問い合わせください。

レボは、屋内・屋外両方のご使用を目的として作られた内外対応型の車いすです。
レボは、国際的品質規格であるＩＳＯ７１７６に沿ってテストされており、その品質はスウェーデン・ハンディキャップ協会、ドイツのＴＵＶ、オランダのＴｎｏによっても保証されております。

シート幅　：３５cm・３７.５ｃｍ・４０cm・４５cm・５０cm
（当社標準：３７.５cm・４０cm・４５ｃｍ）　**＊標準以外はお取り寄せとなります。**

シート奥行：４２cm（座幅４０ｃｍ、４５ｃｍの場合）
　　　　　　３７～４２ｃｍ（座幅３７.５ｃｍの場合）

使用者最大体重：１２５㎏

国際品質規格　ＩＳＯ　１１１９９－２　取得済
製造元　　：　ETAC（スウェーデン）

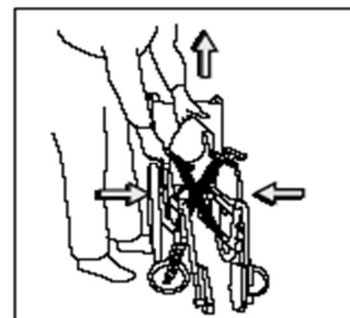
レボ
後方シート高さ：調整可能
前方シート高さ：調整可能
メインホイール：クイックリリース方式　２０・２２インチ
フロントキャスタ：５・６インチ（当社標準：５インチ）
介助ハンドル　：高さ調整可能（４０・４２．５・４５ｃｍ）

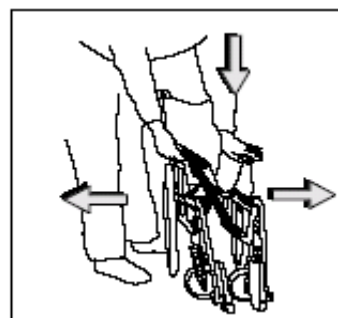
※　フレームの素材は耐久性があり、水をはじき汚れを拭き取りやすい素材を使用しています。

調整に必要な工具：六角レンチ　３・４・５・６mm
　　　　　　　　　スパナ　　　８・１０・１３mm
　　　　　　　　　ソケットレンチ
　　　　　　　　　プラスドライバー
　　　　　　　　　水準計

２． 輸送方法

１．折りたたみ方

右図の様にフットサポートを上げ、シート中心部を持ち上げてください。

２．広げ方

右図の様にシートの両側のフレームを、手のひらで下向きに押してください。

注意

シートを広げる際に手を挟まない様ご注意ください。
アームサポートを握ると手を挟み、ケガをする恐れがあります。

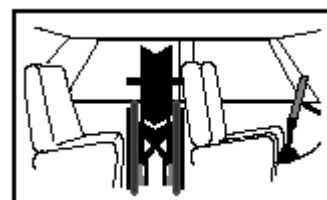
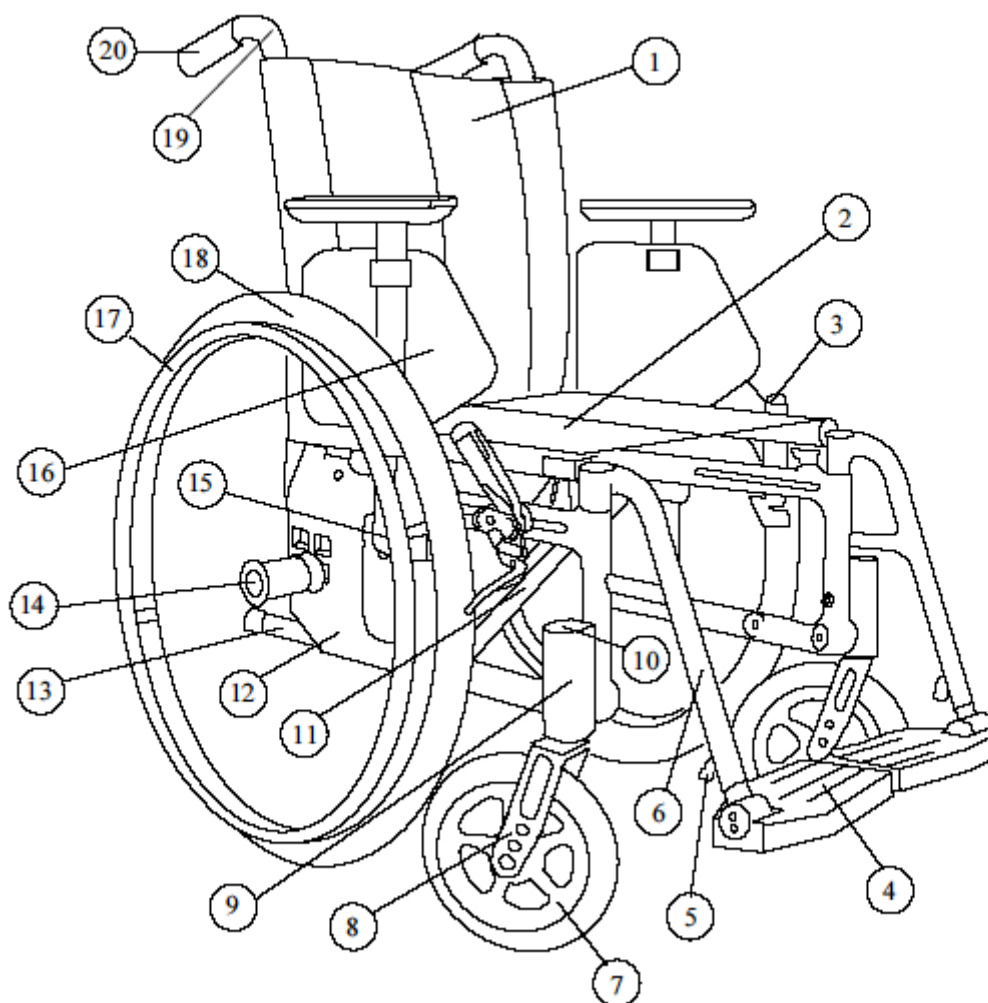
３．持ち上げ方

１．の方法で折りたたんだ状態で、フットレッグサポートを取り外しプッシュハンドル（矢印部）と取り付け位置のフレーム本体前方（矢印部）を持ち上げます。

注意

アームサポートやフットレッグサポートを持って持ち上げないでください。
アームサポートやレッグサポートが外れてケガをする恐れがあります。

４．車での輸送方法

自家用車／タクシー：車いすを折りたたみ、トランクに入れてください。
もしくは、動いたり倒れたりしない様に、しっかりと後部座席の足元に固定させてください。
また、可能であればシートベルトで車いすを固定してください。

３．　レボパーツ名称

１．バックサポート	１１．クロスフレーム
２．シート	１２．サイドフレーム
３．ブレーキ	１３．転倒防止バー
４．フットサポート	１４．車軸（クイックリリース）
５．レッグサポート高さ調整ネジ	１５．アームサポートアタッチメント
６．レッグサポート	１６．アームサポート
７．フロントキャスタ	１７．ハンドリム
８．フロントフォーク	１８．メインホイール
９．フロントフォークアタッチメント	１９．バックサポートフレーム
１０．プロティクティブ　ストッパー	２０．プッシュハンドル

４．　レボ標準装備

＊　シート
高さ・角度　調整可能
前座高：３８～４５cm（5インチキャスタ）
後座高：３８・４２cm（２０インチメインホイール）
　　　　４０・４４cm（２２インチメインホイール）

＊　メインホイール
クイックリリース式車軸・ソリッドタイヤ（ノーパンク）
タイヤ間調整可能アルミハンドリム
キャンパー角度　2°

＊　バックサポート
高さ・角度　調整可能
高さ：４０～４５cm（3段階）
角度：2～8°

＊　レッグサポート
スイングアウト・スイングイン・着脱可能
長さ調整可能
跳ね上げ式・角度調整可能フットサポート

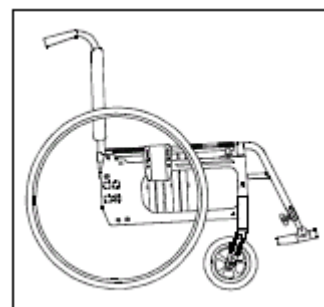
＊　アームサポート
着脱式・高さ調整可能

＊　転倒防止バー

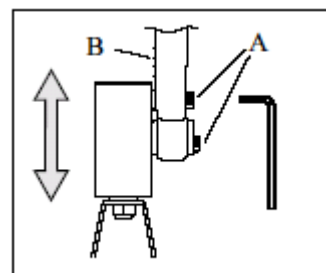
５．　シートのセッティング

１．シート前方の高さ

前座高３８～４５cm まで調整可能
（5インチキャスタ使用時）

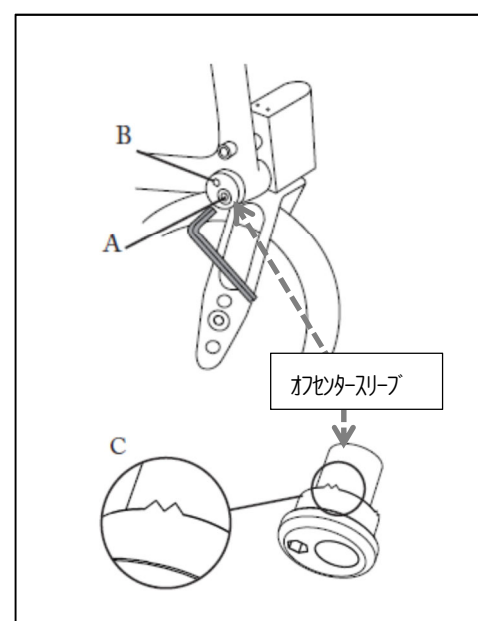
フロントフォークアタッチメント：高さ・キャスタ角調整式

前座高を高く設定すると後方に転倒の恐れがありますので、必ず転倒防止バーを利用してください。

２．フロントフォークアタッチメントの高さ調整

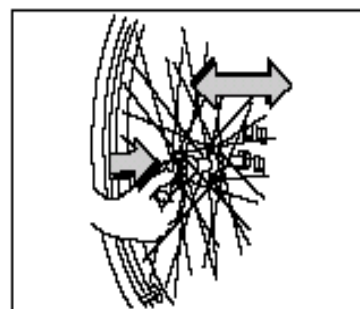
フロントフォークアタッチメントの高さは上下4cm 調整出来ます。
図中Ａの２つのネジを緩め、アタッチメントの高さを調整してください。
両側のキャスタが同じ高さになるように、Ｂのメモリを参考にして
ください。フロントフォークアタッチメントの角度を調整し、ネジを
締めてください。

必要な工具：6mm 六角レンチ

３．フロントフォークアタッチメントの角度調整

6mm の六角レンチでネジＡを反時計回りに回し、
オフセンタースリブの突起（C）が干渉しない位置まで
ネジＡを緩めてください。
六角レンチをＢの穴に入れオスセンタースリーブを回転させ、
水準計でアタッチメントが地面に対して垂直である
ことを確認し、ネジＡを締め固定します。

必要な工具：6mm 六角レンチ
　　　　　　水準計もしくは、角度計

４．メインホイールのクイックリリース

・メインホイールの取り外し
車軸中心のボタンを押しながら、水平に引き抜いてください。

・メインホイールの取り付け
車軸中心のボタンを押しながら、水平に最後まで差し込んでください。
車軸中心のボタンから手を放し、完全にメインホイールが固定されているか確認してください。

注意

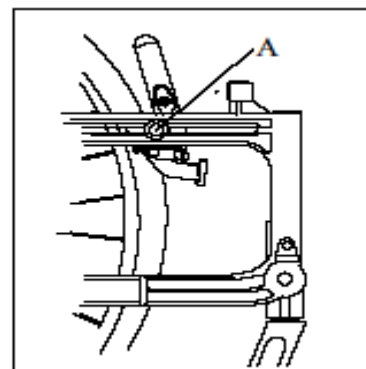
必ずタイヤがしっかりと固定されているか確認してください。
差し込みが不完全の場合、走行中にメインホイールが外れてケガをする恐れがあります。

５．ブレーキ調整

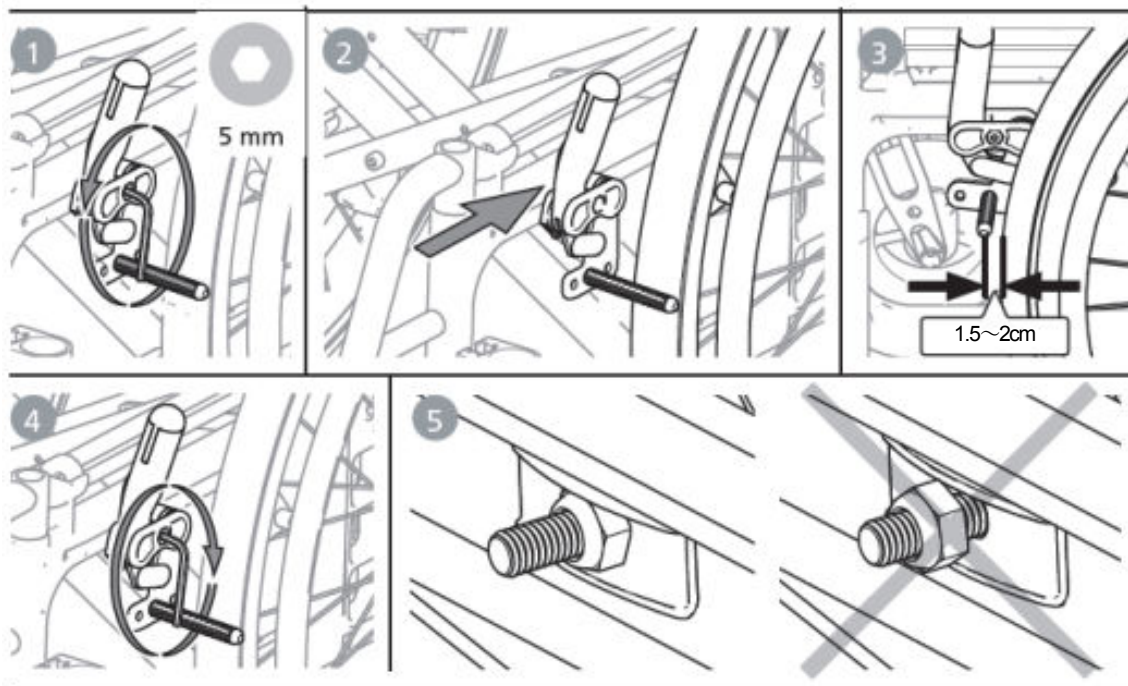
ブレーキ位置は無段階に調整が出来ます。

【裏から調節するタイプ】

ナット A を数回まわして緩め、ブレーキをかけていない状態でブレーキバーがタイヤから 1.5～2cm 程離れている状態にしてください。
ブレーキがしっかりとフレームにはめ込まれているかを確認し、ナット A を締めてください。
その後、ブレーキの作動テストを行なってください。

必要な工具：１０mm スパナ

注意

ブレーキ調整後は必ず作動テストを行い、タイヤが固定されるのを確認してください。ブレーキのかかりが弱いと車いすが動きだし事故をおこすおそれがあります。
このブレーキはパーキングブレーキです。制動ブレーキとしての使用はしないでください。

【表から調節するタイプ】

①ブレーキを固定しているネジを、緩めてください。
②ネジを緩めブレーキを前後にスライドすることで、ブレーキ位置の調節ができます。
③ブレーキをかけていない状態で、ブレーキバーとタイヤの間隔が１.５～２ｃｍ程
　離れている状態を目安に調節します。
④ブレーキ位置が決まりましたら、ネジを締めてください。
⑤ネジを締める際に、フレーム内側のナットが金属プレートの溝にはまっていることを
　確認してください。

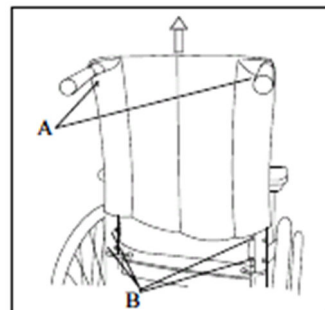
必要な工具：六角レンチ（5mm）
注意

ブレーキ調整後は必ず作動テストを行い、タイヤが固定されるのを確認してください。ブレーキのかかりが弱いと車いすが動きだし事故をおこすおそれがあります。
このブレーキはパーキングブレーキです。制動ブレーキとしての使用はしないでください。

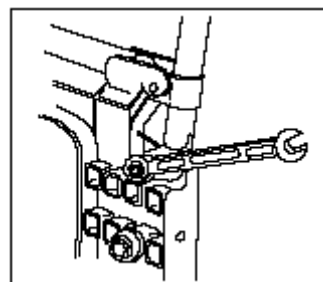
６．バックサポートのセッティング

１．バックサポートの高さ調整

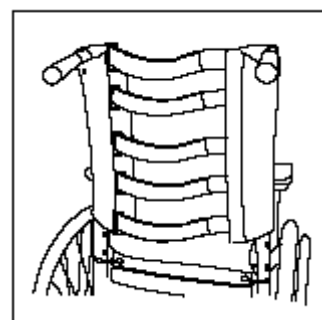
バックサポートの高さは、座面から４０・４2.５・４５cm に設定可能です。Ａのネジを外しバックサポートを引き上げ、Ｂのネジを外して高さを調整します。
このとき、両方の高さが同じになるように注意してください。

必要な工具：3mm 六角レンチ
　　　　　　8mm スパナ

２．バックサポートの角度調整

バックサポートの角度は２～８°まで調整ができます。
ナットを緩め、最適な角度に調整しナットを締めて固定してください。

必要な工具：１３mm スパナ

バックサポートフレームとアームサポートの距離を比べて左右の角度が同じである事を確認してください。

３．バックサポート張り調整機能

背張り調整機能付バックサポートは、５本のベルクロストラップとカバーがついています
各１本づつ張りの調整ができ、使用者の背中の形状に合わせる事が出来ます。
バックサポートカバーは奥深くまで座ることができるように、臀部が入るスペースを作った状態でバックサポートに取り付けてください。

ベルクロストラップを締めすぎると、車いすが広がらなくなる恐れがあります。

７．レッグサポートのセッティング

レッグサポートは取り外し可能で、外側・内側両方にスイングすることもできます。

注意

フットサポートの上には絶対に立たないでください。転倒する恐れがあります。
レッグサポートを持って、車いすを持ち上げないでください。レッグサポートが外れ、ケガをする恐れがあります。

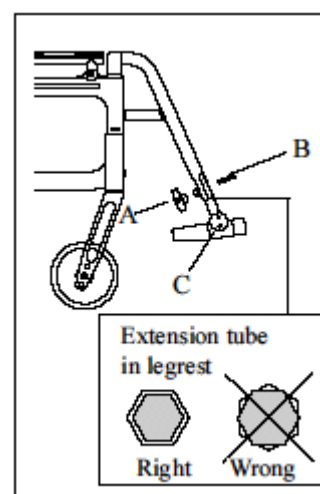
１．レッグサポートの長さ調整

ナットＡを外し、ボルトＢを抜いてください。
長さを調整し、ボルトＢを差し込みナットＡを締めてください。
その際、ボルトＢが図の様にきちんとはまっているかを
確認してください。（図１参照）

図１

２．フットサポートの角度・奥行調整

角度：ネジＣを少し緩めてフットサポートの角度を調整し、
ネジを締めてください。

必要な工具：５mm 六角レンチ

奥行：フットサポートの左右を入れ替えることでフットプレートの
サポート面を替えることが出来ます。

＊　フットサポートの床・地面からの距離の目安
　　屋内：約２～３cm
　　屋外：約４～５cm

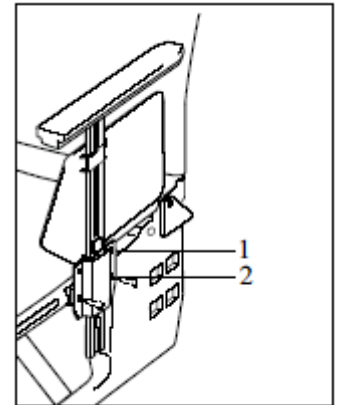
８．アームサポートのセッティング

１．アームサポートの高さ調整

アームサポートは、１cm 間隔で高さを調整する事が出来ます。
サイドガードのネジを外し、高さを調整しネジを締めてください。

（図）

必要な工具：３mm 六角レンチ

アームサポートアタッチメントの高さを２段階に調整できます。
ホジション１では、１７～２６cm に調整可能。（図参照）
ポジション２では、２２～３１cm に調整可能。（図参照）

必要な工具：５mm 六角レンチ

注意

車いすを持ち上げる際、アームサポートは持たないでください。アームレサポートが外れ、ケガをする恐れがあります。

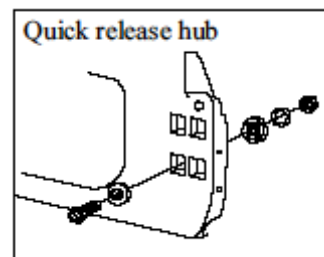
注意

２２インチメインホイールで車軸をCの位置（１５ページ参照）に設定した場合、
アームサポートとメインホイールが干渉することがございますので、アームサポートの高さは１９ｃm以上に設定してください。

９．メインホイールのセッティング

１．メインホイール車軸の中心

バランスの中心はメインホイール車軸の位置をかえることで調整できます。

サイドフレームの内側より、ナットを外します。
ワッシャーとボルトを外し、車軸受け（内外各１個）を外します。
変更する位置に車軸受けを差し込みボルトとワッシャーを挿しナットを締め付けます。
このとき、車軸受けの上下がサイドフレームと合っている事を確認してください。（車軸受けでキャンパー角度２°を設定しています）

必要な工具：ソケットレンチ（２４mm）

・車軸位置を変更した場合は、必ずブレーキの調整を行なってください。（７ページ参照）
・ メインホイール位置が前方の場合､操作性は向上しますが後方への転倒の危険が増しますので、転倒防止バーが機能するか必ず確認してください。
・シート角度とバックサポート角度を変更した場合は、バランスの中心も変わりますので転倒防止バーが機能するか必ず確認してください。
・クイックリリース車軸がぐらついたり、抜けていないことを確認してください。

２．ハンドリム

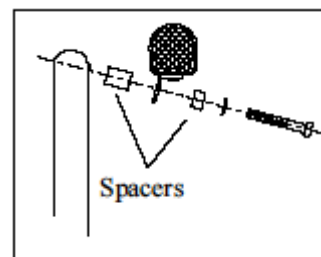
ハンドリムはアルミ製です。

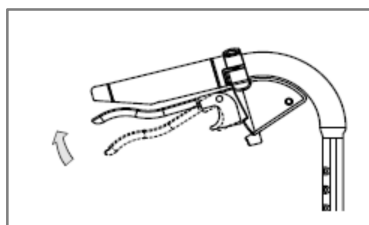
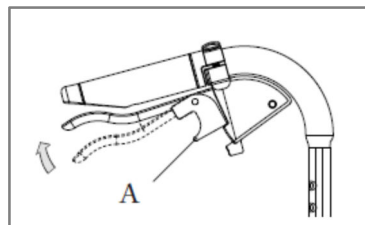
狭い空間を通り抜ける時はハンドリムと壁の間に指を挟みケガをする恐れがありますのでご注意ください。
車輪のスポークに指を挟む危険性がある場合は、スポークガード（オプション）の使用をお薦めします。

３．メインホイールとハンドリム間の距離

スペーサーを追加または取り外すことにより、メインホイールと
ハンドリム間の距離を調整出来ます。

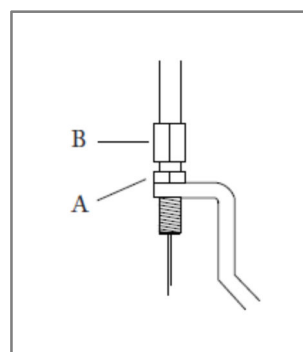
メインホイールを取り外し、内側よりネジを外しスペーサーの
組み合わせを変更し、距離を調整します。

必要な工具：４mm 六角レンチ

１０．キャリパーブレーキ

１．キャリパーブレーキ（介助ブレーキ）の操作方法

ブレーキレバーを矢印の方向に
引いている間ブレーキがかかります。

ブレーキレバーを矢印の方向に引いて
ボタンＡを押しブレーキレバーをロック
するとパーキングブレーキがかかります。

２．キャリパーブレーキ（介助ブレーキ）の調節

ナットＡを緩めてください。
調節用ネジＢを回転させて、キャリパーブレーキの
効きを調節してください。
調節後はナットＡを締めて固定してください。

必要な工具：スパナ（8mm）

注意

・調節後はブレーキの効きを確認してください。
・メインホイールが回転した時に、異音（金属が擦れるような音）が聞こえる場合は、
　ブレーキシューとメインホイールが干渉していますので、再度調節を行ってください。

１１．ケアとメンテナンス

シートカバー

シートカバーはシートフレームに対して縦長に留められておりシートの端に付いているキャップをプラスドライバーで外せば、フレームから簡単に取り外す事ができます。
シートとバックサポートは４０℃以下の温水又は水で洗濯できます。

メインホイール・キャスタ・フロントフォークアタッチメントのチェック

タイヤ・・・・・・・・・・・・・１ヶ月に１回は踏み面のチェックを行なってください。
スポーク・・・・・・・・・・・・スポークの緩みはタイヤのぐらつきの原因になります。
スポークの調整が必要な際はお買い求め頂いた販売店又は当社にご相談ください。
クイックリリース車軸・・・・・・車軸には埃等が付かない様に必要に応じて掃除してください。
ボールベアリング・・・・・・・メンテナンスの必要はありません。
ハンドリム・・・・・・・・・・・必要に応じて交換してください。
フロントフォークアタッチメント・良い操作性を保つ為に、<u>正しい角度</u>で取り付けられている事が必要です。適時点検してください。

ブレーキ

ブレーキの機能はタイヤの圧力に影響されます。（エアータイヤの場合）
ブレーキに埃等が付着すると機能に障害をきたしますので、少なくとも使用前に必ず点検してください。

フレームの洗浄

車いすを快適で長持ちさせる為に、きれいにしておく事が大切です。レボのフレームには排水の為の穴がついており、簡単に洗浄して頂けます。
車用洗剤又は液体洗剤で洗ってください。汚れがひどい場合はグリースタイプの汚れ落しをご使用ください。

ペイント

部分用修正ペイントで傷の部分を塗り直す事が出来ます。

その他

万が一、車いすに故障等の不良がございましたら、お買い求め頂いた販売店もしくは弊社までご連絡ください。不良品はご使用にならないでください。
車いすに修理が必要な場合、純正パーツ又は弊社指定パーツをご使用ください。
改良されたパーツまたは当社指定以外のパーツのご使用による故障に対しては責任を負いかねますのでご了承ください。
その他ご不明の点は、お買い求め頂いた販売店もしくは弊社までご連絡ください。

１２．トラブルシューティング

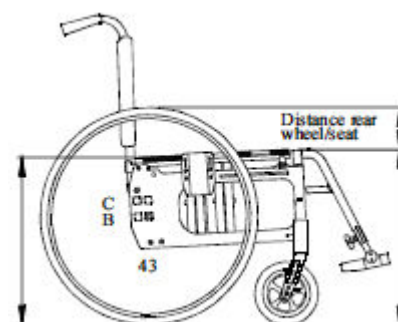
問　題	傾向／対策
車いすがふらつく。 まっすぐ進まない。	・エアータイヤの場合はタイヤの空気圧を確認してください。 ・フロントフォークアタッチメントの角度を確認してください。 ・フロントキャスタが同じ高さになっているか確認してください。 ・メインホイールが正しく取り付けられているか確認してください。 ・使用者の体重が不均等にかかっていないか確認してください。 ・車いすを動かす際に片側に力が加えられていないか確認してください。
車いすを動かす操作が 重く動かしづらい。	・エアータイヤの場合はタイヤの空気圧を確認してください。 ・フロントフォークアタッチメントの角度を確認してください。 ・フロントキャスタが同じ高さになっているか確認してください。 ・メインホイールが正しく取り付けられているか確認してください。 ・キャスタに埃等が付着していないか確認してください。 ・キャスタに体重がかかりすぎていないか確認してください。 ・バランスの中心を確認してください。
車いすの操作が重く 動かしづらい。	・エアータイヤの場合はタイヤの空気圧を確認してください。 ・フロントフォークアタッチメントの角度を確認してください。 ・フロントキャスタが同じ高さになっているか確認してください。 ・メインホイールが正しく取り付けられているか確認してください。 ・キャスタに埃等が付着していないか確認してください。 ・キャスタに体重がかかりすぎていないか確認してください。 ・バランスの中心を確認してください。
ブレーキが効かない。	・エアータイヤの場合はタイヤの空気圧を確認してください。 ・ブレーキとタイヤの距離を調整してください。
メインホイールが がたつく。	・車軸の長さを調整してください。
メインホイールが 外しにくい。	・クイックリリースをきれいにして、潤滑油を塗ってください。
キャスタががたつく。	・フロントフォークが充分に締められているか確認してください。 ・フロントフォークアタッチメントの角度を確認してください。 ・フロントキャスタが同じ高さになっているか確認してください。 ・キャスタに体重がかかりすぎていないか確認してください。 ・バランスの中心を確認してください。
折りたたみにくい。 広げにくい。	・シートカバーをきつく締めすぎている。 ・クロスフレームの連結部をきれいにしてください。
車いすが使いにくい。	・エアータイヤの場合はタイヤの空気圧を確認してください。 ・全てのネジ・ナット・ボルトが締まっているか確認してください。

上記以外の問題や、問題が解決しない場合は、お買い求め頂いた販売店もしくは当社までご連絡ください。

１３．シートの高さ／角度　調整

シートの高さに関するデータ
（メインホイールのタイプやシート角度によって±１cm の差がでます。）

２０インチ

メインホイールの位置	シート後座高(シート角度３°)	シートからメインホイール上端までの高さ
B－４	４２cm	９．５cm
C－４	３８cm	１４cm

２２インチ

メインホイールの位置	シート後座高(シート角度３°)	シートからメインホイール上端までの高さ
B－４	４４cm	１２cm
C－４	４０cm	１６．５cm

キャスタの位置とシート高さに関するデータ

フォーク	取り付け位置	5インチ	6インチ
Short 1 2 3	1	３８～４２cm	取り付け不可
	2	４０～４４cm	４１～４５cm
	3	４１～４５cm	４２～４６cm

１４．重量と大きさ

スタンダードモデル

20 インチホイール付属の場合

タイプ 座幅	シート 奥行	シート 前座高	シート 後座高	バック サポート 高さ	全幅	折りたたみ 幅	重量
37.5cm	４2cm	38～42 cm	38～42 cm	４0～４5cm	59.5cm	３0cm	約１６kg
４0cm	４2cm	38～42 cm	38～42 cm	４0～４5cm	６１cm	３0cm	約１６kg
４5cm	４2cm	38～42 cm	38～42 cm	４0～４5cm	６６cm	３0cm	約１６kg

22 インチホイール付属の場合

タイプ 座幅	シート 奥行	シート 前座高	シート 後座高	バック サポート 高さ	全幅	折りたたみ 幅	重量
４0cm	４2cm	38～42 cm	40～44 ｃｍ	４0～４5cm	６１ cm	３0cm	約１６kg
４5cm	４2cm	38～42 cm	40～44 ｃｍ	４0～４5cm	６６ cm	３0cm	約１６kg

＊　サイズは計測具合によって±１cm 程の差がでる場合があります。
＊　折りたたみ幅・重量共にメインホイールを含みます。
＊　オプションパーツや仕様によりサイズ、重量は異なります。